

～離乳食段階ごとの口の動き～

① 離乳初期 パースト状



上唇の形は変わらず
下唇が中に入る

離乳初期の口は下唇がクルリと内側に入り込みペーストを取り込みます。舌は前後に動いてのどへ送ります。

献立

- ・白米
- ・豆腐とあさつきの味噌汁
- ・カレイの煮つけ
- ・ほうれん草と人参の煮物

※それぞれの形態へと展開していきます。

② 離乳中期 ジャム状



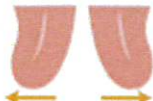
口角が左右同時に
伸び縮みする

よく唇も動くようになり、食べ物を唇で口のなかに取り込むことが、上手になります。舌は前後だけでなく、上下にも動き、取り込んだものを舌と上あごではさんで、押しつぶせるようになります。食べ物を押しつぶすたびに、口元が左右にキュッキュッと動きます。

③ 離乳後期 つぶし状



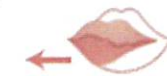
舌は上下に動く



舌は左右に動く

つぶし状での舌の動き方が上手になったら、少し食材をあらめにつぶして経験をつみましょう。

④ 離乳完了期 さいのめ状



上下の唇がねじれ、
咀嚼く側に交互に口角が縮む



咀嚼くにより食塊をつくる

歯茎でモグモグして食べられるようになります。舌が左右にねじれるように動き、歯茎の上に食べ物を運んでいます。手つまみ食いで、口と手を協調させる経験を十分につむことを、大切にしています。

